

時事では梅雨の季節とされていますが、夏日も織り交じり蒸し暑い日々です。乳幼児健診などの会場では、暑さ対策を万全にしましょう。

県内では、百日咳や伝染性紅斑等感染症が流行してますので、感染対策にも気をつけてください。

今回は、母子保健技術研修会Ⅰの開催結果、熱中症、感染症の流行等についてお伝えします。



長野県PRキャラクター「アルクマ」  
©長野県アルクマ

## ……令和7年度母子保健技術研修会Ⅰを開催しました（6月17日）……

テーマ：「乳幼児健診の基本のきほん」

講義1：「総論・疾病スクリーニング」

講師：松本保健福祉事務所 長瀬 有紀 所長

講義2：「乳幼児期の発達の確認ポイント解説」

集合研修は市町村新規採用保健師、オンライン研修は新人育成に関わる保健師等を対象に開催しました。

### ○集合研修

【参加者数】34名（18市町村）

【理解度（5点満点）】 講義1：4.6点 講義2：4.6点

### ○オンライン研修

【参加者数】44人（24市町村・8保健福祉事務所）

【理解度（5点満点）】 講義1：4.0点 講義2：4.2点

研修後半に、4か月児健診の保健指導をテーマにグループワークを行いました。意見交換を通して、自分では気づけなかった点を学んだり、お互いの市町村の事業についても情報共有できたようで、多くの学びを得られたのではないかと思います。また最後に長瀬所長から「保護者がもつ個性に合わせた伝え方の工夫を」とのお話がありました。今回の研修を踏まえ、経験を積みながら、また時折自身の保健指導について振り返る機会を持ち、保健指導技術の「引き出し」を増やしていただけたらと思います。

### 参加者のアンケート結果から

- ・乳幼児健診はスクリーニングの場であり、白かグレーかを判断しグレーを次につなげることが大事。
- ・点の視点でなく線の視点で見て、経過を追って判断することが大事と学んだ。
- ・乳幼児健診がどんな歴史があって、今の健診が必要になったか、そのためにどんなことを見ていく必要があるか、改めて理解できた。



### お知らせ

#### 妊産婦等メンタルヘルス支援体制ネットワーク構築事業について



6月18日から市町村や医療機関等の支援者を対象とした、個別支援や支援体制づくり等についての相談窓口を開設しました。



例えばこのような相談

- ・精神的不調を抱える妊産婦への支援で、医療につないだ方がよいか判断に迷う時。
- ・産科や地域支援者が精神科医療につなぎたいが、精神科医療機関の予約待ちの状況でそのケースへの対応や支援に係る相談等

まずはご相談ください

#### 【相談受付日時】

毎週水曜日 9時30分～12時00分

【連絡先】 ☎0263-37-2604

【担当】 コーディネーター 坪内氏

（周産期のこころの医学講座直通の電話番号となります）



## ..... みんなで見守り「こどもの熱中症」を防ぎましょう！ .....

子どもは汗をかく能力が未発達のため、皮膚の血流量を増加させ、体の表面から周囲に熱を逃がすことで体温を調節しています。子どもは、大人よりも体重に対して体表面積が大きいいため、外気温などの影響を受けやすく、熱がこもりやすいという体格上の特徴があります。乳幼児健診など多くの方が集まる時での、会場の環境調整等をお願いします。

### 子ども家庭庁より

本サイトでは、関係機関等と連携し、「こどもの熱中症」に関する予防法・対策法・留意点等について、情報をとりまとめています。

「熱中症」は予防法を知り、対策をとることによって、症状の発症を抑えること、あるいは重症化を防ぐことができます。

本サイトをご活用いただき、熱中症からこどもの身を守る一助となれば幸いです。

- ・「熱中症」とは
- ・熱中症に関する、こどもの特徴・行動等について
- ・熱中症を防ぐには
- ・熱中症になった場合の対処法
- ・その他関連情報



詳しくは子ども家庭庁のサイトをご参照ください

<https://www.cfa.go.jp/policies/child-safety-actions/cases/netchusho>



## ..... 感染症が流行しています！ .....

基本的な感染症予防対策（手洗い・うがい・マスク着用）が大事になります。小さいお子さんがいる家庭や妊婦さんへの声かけをお願いします。



◎ 伝染性紅斑\*（「リンゴ病」とも呼ばれる）の届け出が 県内で増加しています。

\*伝染性紅斑は、妊娠中に感染し、胎児感染した場合、胎児の異常（胎児水腫）を起こす場合があります。

◎ 百日咳\*の届け出が、前回流行の2019年を上回る推移で、県内で増加しています。

感染予防には、5種混合ワクチンの予防接種が有効。対象年齢（月齢）での接種の勧奨をお願いします。

\*百日咳は、生後6カ月未満の乳児が感染した場合、重症化し、稀に死に至ることがあるので特に注意が必要です。

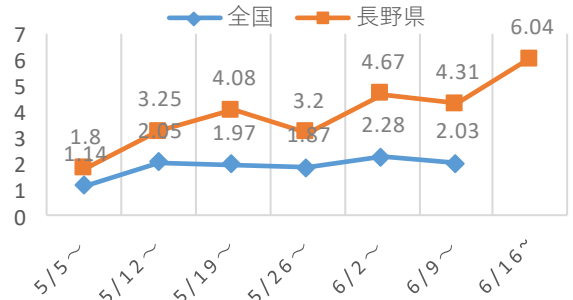


【参考：感染症に関する情報】

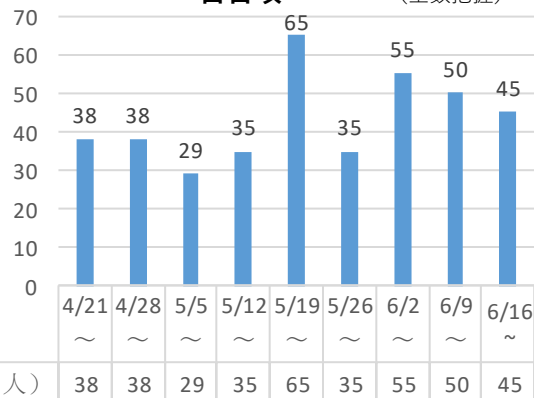
長野県感染症情報（長野県HP等に掲載）

[https://www.pref.nagano.lg.jp/shippei-kansen/kenko/kenko/kansensho/joho/index.html#content\\_02](https://www.pref.nagano.lg.jp/shippei-kansen/kenko/kenko/kansensho/joho/index.html#content_02)  
（国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト等に掲載）  
<https://id-info.jihs.go.jp/>

伝染性紅斑 （定点把握）



百日咳 （全数把握）



（感染症発生動向調査から）

全体を年齢別でみると10～14歳が半数を占める。  
次いで5～9歳が14%



お読みいただいたご感想・ご意見をお寄せください。お待ちしております。

| 担当圏域           | 母子保健推進員 | 連絡先                                  |
|----------------|---------|--------------------------------------|
| 佐久・上田・諏訪・伊那・飯伊 | 森 谷     | 長野県庁 疾病・感染症対策課<br>026-235-7141（直通電話） |
| 木曽・松本・大北・長野・北信 | 秦       |                                      |